

Graded Readers 比較

□所要時間	45分程度
□主なスキル	スキヤニング、クリティカル・シンキング
□形式	個人 → ペア・グループ (→ クラス全体)
□概要とねらい	
<p>このアクティビティのねらいの一つは、原作とリトールド版にどのような違いがあるかを知り、多読図書の特質と意義について理解を深めることです。リトールド版とは、一口で言えば原作の書き換えを指しますが、子ども向けに少々難解で長編の物語を平易に短く書き直したもの、学習者向けに各習熟度レベルに適合する語彙・文法を使って原作を読みやすく書き換えたものがほとんどです。多読用図書が多数出版されている昨今は、多くの出版社が著名な作品のリトールド版を作成しています。様々な著者・出版社によって、原作がどのように書き換えられているかを比較して、多読図書シリーズの特徴をつかむことも可能です。リトールド版の趣は、イラストや短縮の仕方それぞれ異なるため、自分の好みに合ったシリーズを選ぶ手助けにもなります。また、リトールド版を読むことで、原作の魅力を再発見したり、原作を読もうという動機づけとなったりすることが期待できるでしょう。</p>	
□事前準備（必要な教材、器具など）	
<p>複数の出版社によってリトールド版が発行されている作品の原作と、リトールド版を何冊か準備する。</p> <p>比較したいページ・箇所の抜粋（ここでは『不思議の国のアリス』を比較）</p>	
□手順	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 原作とリトールド版（あれば3,4種類）の抜粋をプリントし、配付。抜粋部分は作品の冒頭がわかりやすい。比較すると違いが際立つ特徴的な部分を含む場面もよい。 2. 比較すべき点をリストアップしたワークシートを配付。 3. ワークシート穴埋め。 4. ペアまたはグループ、クラスなどで確認 	

【学生の反応】

➤ 原作とリトールド版を読んだ感想

- ・本（会社）によって大きな違いがあるのは驚きました。
- ・セリフが省略されているものもあったので、リトールドした作者がどの部分を重要視したのかが異なっていて比較対象として面白いと感じました。

・原作では、実際にアリスが考えている内容（アリスの独白）が詳しく書かれている。リトールド版では、アリスの行動や様子などがざっくりと書かれており、物語を読み進めていくのに必要最低限の情報だけが残っている。

・原作は他のどのバージョンと比べても一文が長く、その一文の中に大量の情報が盛り込まれている。文法も少し難しく(古く?)なっており、読むのに少しつまづきそう。それをリトールド版では文を短く切って、分かりやすいシンプルな文法に書き換えている。

・リトールド版では、うさぎのセリフは原作と同じであるが冒頭文では原作よりも短い文章でまとめられている。セリフなどの作者の特徴が出る部分はそのままのスタイルを貫き、書き換えても大して内容に変化がないようなところは、より分かりやすく短い文章で書き換えているのだと感じた。

➤ 今後のバージョンを読みたいか

・オリジナルからなるべく改変度合いの少ない方が良い。かといってオリジナルは細かすぎる描写で読むのが大変。

・原作だからこそ味わえる情緒を体感したい。一つの動作にも主人公の気持ちや動機、情景描写が詳しく描かれている方が読んでいて楽しそうだと思う。

・物語は一つのセリフや文の言い回し、単語の使い方などで味が変わるものだと思う。そのため作者のスタイルを100%感じるためには原作を読むことに他ならないと感じるから。

・最初に e-future classic の最も端的にストーリーを大まかに読み取るものを一度読んで、あらすじを掴んだところで原作を読みたいと思ったからです。原作は情景描写に富んでいて細かいところまで楽しめるが、文体が難しく、ストーリーについていけなくなるリスクがあるので、一度最初に簡単なものを頭に入れておくと、入り込みやすいのではないかと考えました。

・原作を読んだ後に、retold 版を読むと何か物足りなさを感じたからです。文法や単語は難しいですが、原作で表現される叙情的で内省的な描写や、様々なアイロニーや暗喩などは、心に迫ってくるものがあり、イギリス文学を読んでいるという感覚を楽しみたいと思いい原作を選びました。

【応用・解説】

*指導ポイント、授業活用例、このアクティビティに適した図書の紹介

本アクティビティでは『不思議の国のアリス』を使用しています。知名度が高く、学生にもなじみのあるお話であることや、多読図書シリーズに含まれていることが多いことからこの作品を選びました。特に冒頭で主人公のアリスが、遅刻してしまうと焦っている白うさぎを目撃するシーンはだいたい誰もが知っているくだりであるため、その部分が原作やリトールド版でどのように表現されているかを比較するタスクを作成しました。

以下は、原作と 8 つのリトールド版の冒頭の一文とうさぎのセリフを比べやすいよう

に一覧にしたものです。(学生にはオリジナルと実施当時オンラインでアクセス可能だった Foxton Readers と E-future のリトールド版の冒頭を比較するタスクを課し、その後教員がまとめた多様なバージョンの一覧を提示しています。)

『不思議の国のアリス』 冒頭の文の比較

Version	YL	Word	1st line
Original	6.5	26000	Alice was beginning to get very tired of sitting by her sister on the bank, and of having nothing to do.
Foxton Readers	3.0	5400	Alice was bored. She was sitting next to the river with her sister.
E-future	--	2300	Alice was sitting by her sister on a bank of a river.
Oxford	3.0	5400	Alice was beginning to get very bored.
Penguin	2.4	7600	Alice and her big sister sat under a tree one sunny day.
Black Cat	3.0	6800	One beautiful day, Alice and her sister sat by a river.
LadyBird	2.7	3700	Alice was tired of sitting by her sister on the grassy bank, and having nothing to do.
CosmoPier	1.8- 2.4	3800	A young lady sat under a tree on a river bank.
Happy Readers	2.5	5200	Alice felt too sleepy to play, and there was nobody to play with.

『不思議の国のアリス』 ウサギのセリフの比較

Version	YL	Word	Rabbit's line
Original	6.5	26000	Oh dear! Oh dear! I shall be too late!
Foxton Readers	3.0	5400	Oh dear! Oh dear! I shall be late!
E-future	--	2300	Oh dear! I shall be late!
Oxford	3.0	5400	Oh dear! Oh dear! I shall be late!

Penguin	2.4	7600	Oh! Oh! I'm going to be late.
Black Cat	3.0	6800	Oh dear! Oh dear! I'll be late!
LadyBird	2.7	3700	Oh, dear! Oh, dear! I shall be late!
CosmoPier	1.8-2.4	3800	Oh dear! Oh dear! I will be too late!
Happy Readers	2.5	5200	Oh, dear! Oh, dear! I shall be too late!

もともと 26,000 語に及び、読みやすさレベルが 6.5 とされている原作を平易な英語で簡潔に書き直すために各出版社が様々な書き換えを行っていることが一目でわかるはずです。数点のリトールド版の導入部分と原作を読み比べるだけでも、様々な気づきが起こるので、必ずしも多くのバージョンを提示しなければならないわけではありませんが、書き換えの種類の多さ、それぞれの工夫などを知る上では比較のサンプルが多いとインパクトも強くなります。学生はリトールド版が読みやすいように工夫されていることに改めて気づくと同時に、やはりオリジナルの作品の豊かな表現に惹かれるようです（学生の反応参照）。

（文責：小林めぐみ）